

オリンピック先生



や ま だ ゆ り な

山田 優梨菜 先生

【スキー／ジャンプ】

- 生年月日 1996年7月12日
- 出身地 長野県北安曇郡小谷村
- 出身校 小谷村立小谷中学校－
長野県白馬高等学校－
早稲田大学－順天堂大学大学院－
Vrije Universiteit Brussel（博士課程 在学中）



プロフィール

小学校3年生からスキークラブに所属しジャンプ競技を始める。小学6年時、コンチネンタルカップ蔵王大会に出場し、その後、全日本スキー連盟ジュニア強化指定選手に選出される。2012年FISノルディックスキージュニア世界選手権大会団体で優勝。高校2年時、国際大会中に左膝を負傷するが、翌年のFISグランプリ大会に出場し、個人3位の成績を収める。2014年ソチ冬季大会への出場を果たす。引退後は大学院でアスリートのセカンドキャリアについて学び、卒業後はJOCキャリアアカデミー事業のアスナビプランニングディレクターを務め、多くのアスリートの指導を行う。現在は海外の大学に在学中。

主な成績

<オリンピック競技大会>				
2014年	ソチ冬季大会	女子ノーマルヒル	個人	出場
<国際大会>				
2012年	FISノルディックスキージュニア世界選手権 エルズルム大会		団体	優勝
2013年	FISグランプリ アルマトイ大会		個人	3位
2014年	FISノルディックスキージュニア世界選手権 ヴァル・ディ・フエメンテ大会		団体	優勝
<国内大会>				
2015年	全日本ジュニアスキー選手権大会		個人	優勝

スキー／ジャンプ

いかに遠くへ、そして美しく飛ぶことができるかを争う競技。飛距離点(飛んだ距離)と飛型点(空中でのフォーム、着地のテレマーク姿勢)の合計点で順位が決まります。スタートゲートの位置や風の状況も点数に影響するため、より緻密な技術と戦略が求められます。ジャンプ台の大きさ(ヒルサイズ)やK点(飛距離の基準点)までの距離等によって、ノーマルヒルやラージヒル、フライングヒル等の種目に分かれます。



写真：JOC：長田洋平/アフロスポーツ；青木絢二/アフロスポーツ

オリンピック先生



す さ かつ あ き

須佐 勝明 先生

【ボクシング】

- 生年月日 1984年9月13日
- 出身地 福島県会津若松市
- 出身校 会津若松市立一箕中学校 - 福島県立会津工業高等学校 - 東洋大学



プロフィール

高校1年生からボクシング競技を始める。大学3年時、全日本選手権バンタム級で優勝、4年時にはアジア競技大会フライ級で3位に入賞する。全日本選手権大会では、通算4回の優勝を誇る。日本ボクシングコミッション等が共催する年間表彰に於いて、2006年と2010年にアマチュア部門最優秀選手賞を受賞。2012年ロンドン大会への出場を果たし、同大会終了後に現役を引退。現在は、ボクシングクラブを運営しながら、日本ボクシング連盟理事、アジアボクシング連合コーチ委員長を務める等、競技の普及や後進の育成に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2012年	ロンドン大会	フライ52kg級	出場
-------	--------	----------	----

<国際大会>

2006年	第15回アジア競技大会	フライ51kg級	3位
2010年	第16回アジア競技大会	フライ52kg級	3位
2012年	ASBCアジア選手権大会	フライ52kg級	3位

<国内大会>

2005年～2011年	全日本ボクシング選手権大会	バンタム54kg級	優勝 2回
		フライ51kg級	優勝 2回

ボクシング

四角いリング上で2人の選手が向かい合い、グローブをはめた左右の拳で相手と打ち合って勝敗を決める競技。攻撃手段は自分の拳だけで、攻撃対象は相手の上半身、トランクス上部の「ベルトライン」よりも上だけです。格闘技の中でもかなり限定的なルールですが、「いかに相手の隙をついて反則を伴わないでパンチを打ち込むか」というシンプルな目的のために鍛錬するストイックな精神性が際立つ競技でもあります。



写真：JOC：AP/アフロ：フォート・キシモト

オリンピック先生



くろいわ としゆき

黒岩 敏幸 先生

【スケート／スピードスケート】

- 生年月日 1969年2月27日
- 出身地 群馬県嬭恋村
- 出身校 嬭恋村立嬭恋中学校－
群馬県立嬭恋高等学校－
日本大学



プロフィール

スケート競技が盛んな地元で幼少期よりスケート競技に親しみ、小学校4年生から本格的に競技に取り組む。高校3年時、インターハイで2位、大学4年時の世界スプリント選手権大会では総合3位の成績を収める。1992年アルベールビル冬季大会に初出場し、500mで銀メダルを獲得。続く1994年リレハンメル冬季大会、1998年長野冬季大会への3大会連続出場を果たす。現役引退後は、JOCアスリート専門委員、JOCゴールドプラン委員、JOC環境アンバサダー、日本スケート連盟アスリート委員会副委員長、日本スポーツ仲裁機構理事を歴任する。現在は大学スケート部で選手を指導し、後進の育成や競技の普及に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

1992年	アルベールビル冬季大会	500m	銀メダル
		1,000m	9位
1994年	リレハンメル冬季大会	1,000m	11位
1998年	長野冬季大会	500m	16位

<国際大会>

1991年	世界スプリント選手権大会		総合 3位
-------	--------------	--	-------

スケート／スピードスケート

スピードスケートは1周400mのリンクでどれだけ速いタイムで滑ることができるかを競う競技です。短距離はスタートダッシュでいかに速くトップスピードに乗り、そのスピードをコーナーワークでの技術により加速できるかどうかとなります。長距離は、ペース配分をしながら巧みなラップを刻み、粘り強い体力、スケーティング技術を要する種目です。

